

都道府県名	市町村名	組織名	R3認定農用地 (田) 面積(ha) 【共同】	田んぼダム面積(ha)			
				R1	R2	R3	R4 (予定)
山形県	天童市	みさと田園空間クリエーターズ	442	57	119	183	283
山形県	中山町	最上堰広域活動組織	607	0	0	217	442
山形県	新庄市	塩野地域資源保全会	195	0	0	128	178
山形県	新庄市	萩野環境保全会	160	0	0	60	130
山形県	大蔵村	赤松地域資源保全会【共同なし】	81	66	0	0	0
山形県	長井市	野川地域農地・水・環境保全組織	1,629	350	284	327	358
山形県	飯豊町	酒町地域環境保全協議会	36	0	0	10	20
山形県	鶴岡市	伊勢横内地域保全会	29	0	0	0	15
山形県	鶴岡市	斎藤川原地域保全会	40	0	0	0	20
山形県	鶴岡市	豊田会	50	33	33	33	33
山形県	鶴岡市	北京田集落保全会	47	40	40	40	40
山形県	鶴岡市	中野京田保全隊	42	0	0	0	42
山形県	鶴岡市	表小路農地・水	59	38	38	38	38
山形県	鶴岡市	農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会	1,181	561	561	972	1,111
山形県	鶴岡市	高寺エコフィールド	60	24	24	49	48
山形県	鶴岡市	榎東保全会	57	48	48	48	48
山形県	鶴岡市	中島集落保全会	39	0	0	0	20
山形県	鶴岡市	上山添地域資源保全隊	54	35	35	35	35
山形県	鶴岡市	常盤木地区資源保全隊	50	33	38	46	46
山形県	鶴岡市	桂荒俣地区保全隊	35	30	30	30	30
山形県	鶴岡市	下山添保全隊	116	76	83	83	83
山形県	鶴岡市	エコネッツ丸岡	69	60	64	64	65
山形県	鶴岡市	馬渡保全会	81	16	20	22	22
山形県	鶴岡市	大針中保全会	22	4	4	4	4
山形県	酒田市	新堀地域保全会	138	0	0	0	125
山形県	酒田市	山谷公民館環境保全会	68	0	5	29	32
山形県	酒田市	成興野地域資源保全会	47	0	0	0	47
山形県	庄内町	千河原エコ推進隊	123	120	120	120	120
山形県	庄内町	大野環境保全会	44	0	0	22	44
山形県	庄内町	田谷環境保全隊	44	0	0	0	25
山形県	庄内町	吉岡環境資源保全会	99	0	0	0	40
山形県	庄内町	生三グリーンセイバーズ	33	28	28	28	28
合計			5,778	1,619	1,574	2,588	3,571

まずは自分たちでできることからやってみる

三郷堰地域田んぼダムの取組みについて

[三郷堰地域 × 国土強靱化]

特定非営利活動法人 みさと田園空間クリエイターズ

執行理事 星野 高宏

まずは自分たちでできることからやってみる

三郷堰地域田んぼダムの取組みについて

a. 田んぼダム取組内容

- | | | |
|---------|----------------|---------|
| 1. 組織概要 | 5. 啓発活動（先進地研修） | 9. 実施 |
| 2. 組織沿革 | 6. 検討 | 10. まとめ |
| 3. 地形 | 7. 実証調査 | |
| 4. きっかけ | 8. 調査結果に基づく課題 | |

b. 補足資料

1. 田んぼダムによる防災・減災の取組（特定非営利活動法人みさと田園空間クリエイターズ）

1. 組織概要

○ 天童市西南端に位置し、最上川と須川の合流点直下流にある平坦な水田地帯である。昭和55年から平成3年にかけて県営ほ場整備事業による整備（10a→30a）が行われ、水系単位を基本として農業水利施設の保全管理を実施してきた。

○ 農家は水田と果樹の複合経営が主となっており、集落外からの入り作、農村集落ではあるが、離農した土地持ち非農家が多い。

○ 水系単位改良区主導にて設立した組織。

○ 自然水利なし、全量ポンプ揚水、地区内に集落無し

【地区概要】

(特非)みさと田園空間クリエイターズ(天童市・山形市)

<取組面積> 507ha(田441ha 畑66ha)

<資源量> 開水路71.7km 農道73.3km

<執行体制>

代表理事3名 執行理事2名 理事5名 監事3名

執行理事兼職員3名 保全職員3名 運営委員31名

<広域協定団体>

高掬・蔵増・矢野目・塚野目・寺津・藤内新田地域みどり会

<主な構成員>

農業者、非農業者、自治会、子供会、J A、女性部、水土里ネット等

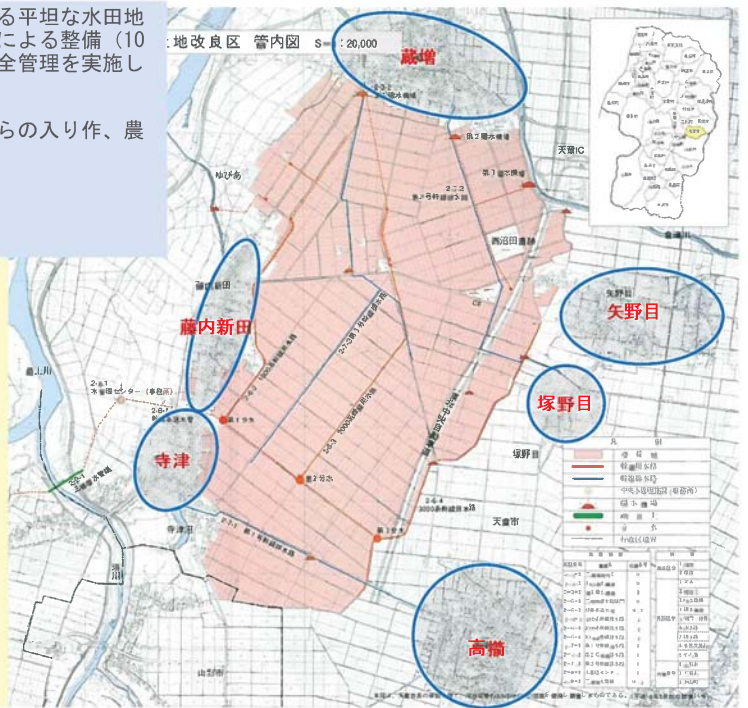
<交付金> 約37百万円(R2)

農地維持支払 約15百万円

資源向上支払(共同、長寿命化) 約22百万円

<関係土地改良区> 三郷堰土地改良区

<設立年月日> H30.2.20(法人)



1. 組織概要 (補足)

開田当時の様子

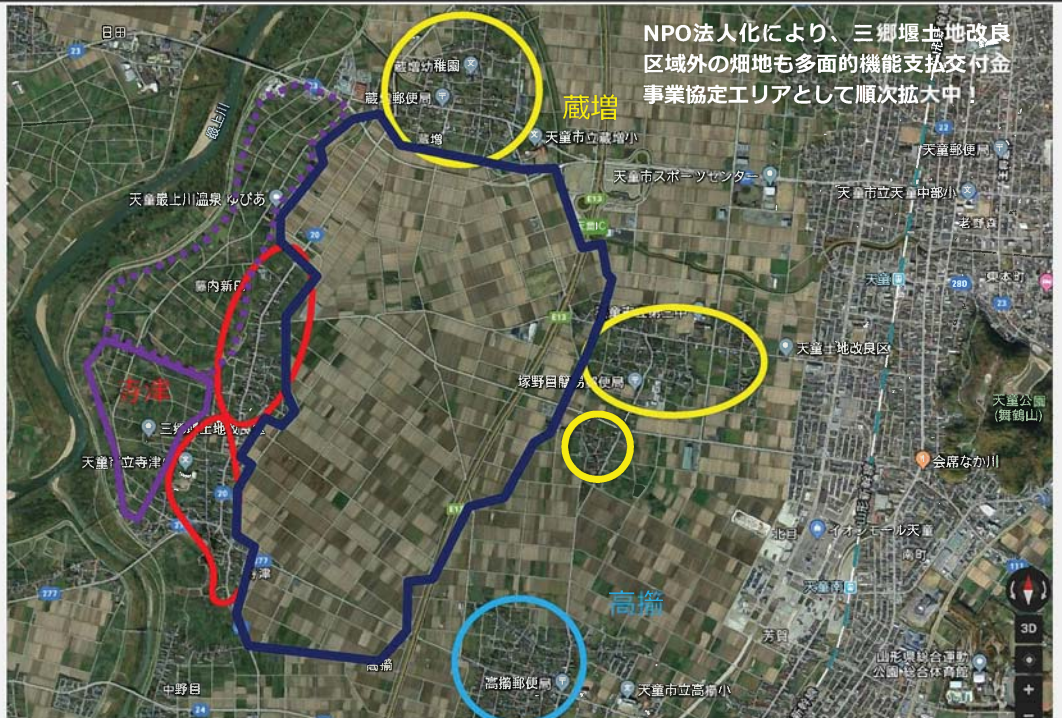


幹線用水路で地区の水泳大会

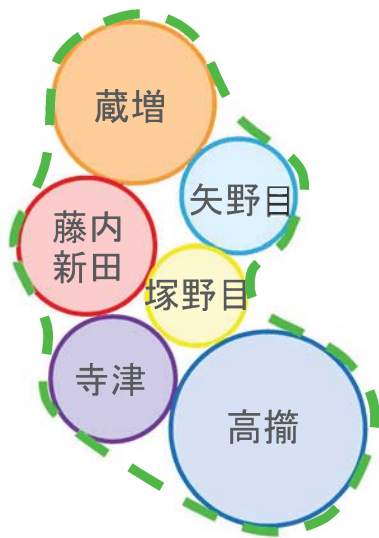


<水土里ネット設立の経緯>

大正9年1月、最上川からの揚水と耕地整理を目的に「東村山郡三郷堰耕地整理組合」として設立し、昭和27年6月土地改良法の制定により、組織変更を行い「三郷堰土地改良区」となる。大正9年設立以来、他の組織との合併や地区編入はない。



2. 組織沿革



【平成19年度】農地・水・環境保全活動組織設立

6地域で取組(各地域みどり会)＜地域80 連携20＞

連携活動事業として、会議や事務、共通活動などを実施

平成27年4月1日施行 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律

【平成28年度】多面的機能保全 広域活動組織設立

6地域を1組織に一本化(みさと田園空間クリエイターズ)

各地域に予算配分＜地域20 広域80＞

より安定的な活動組織とするため

【平成30年度】特定非営利活動法人設立

幅広い活動の展開(多面的事業以外も取組)

4

3. 地形



5

4. きっかけ

平成25年7月18日・平成26年7月10日梅雨前線による大雨により、一部浸水または浸水の危険性を地域が認識し、対策への機運が高まった。



6

5. 啓発活動（先進地研修）

平成26年11月に新潟県見附市へ田んぼダム取組と広域連携について、先進地視察研修を実施した。事業実施経緯や取組内容などを研修。



7

6. 検討

先進地の事例も踏まえ、三郷堰地域にあった取組みを検討するため、様々なタイプの試作品を作成。素材や予算なども考慮し協議検討を行った。



7. 実証調査

検討を重ねモデル箇所を選定し、タイプ別の実証調査を行い、問題点や機能性や効果の算定などを調査した。広報活動を行い、耕作者等への啓蒙を図った。



8. 調査結果に基づく課題

安価 耐用年数短

耐用年数長 高価

木製×桝改修無し 鉄製 プラスチック製 人工大理石製 ステンレス製 フリードレーン式×桝改修有り

1. 水尻桝の規格が数タイプある。(ほ場整備工区毎)
2. 水尻桝のサイズが一定でない。(JIS規格でないものがある)
3. ほ場によって、桝の設置高さが違う。(桝が溝畔から出るものや、埋まっているもの)
4. 誰が計測し、誰が資材の発注し、誰が設置するのか。(耕作者の協力を得られればいいが)
5. 木製では数年経過すると歪んで密閉性が損なわれる。
6. ほ場によって、桝がない箇所や破損してる桝がある。
7. 農家の意見として、畦畔が崩れるのではないかと心配する意見が多い。
8. 稲ワラ等により詰まるのではないかという意見も多く聞かれた。

10

9. 実施



1. 令和元年度より約100ha毎に実施する。5年500ha(田んぼダムは全ほ場を対象とし、協力したくない場合のみ連絡を受け設置しない方針)
2. 桝の計測、資材の発注、田んぼダム資材の設置については、法人で行う。管理は耕作者(約100ha当り、約7日計測、約2ヶ月製作、約3日設置)
3. 桝無しや桝破損、減反箇所、畦畔が低いほ場については、実施しない。
4. 田んぼダムのタイプは、人工大理石・水尻桝の溝を使用しない。在庫分は木製。営農に支障なし。
5. 田んぼダムの取組みを広報し、理解を求める。

11

10. まとめ

■ 農家からみると・・・

農家に対するメリットが少ないため、実施には協力するが、金銭や労力はかけたくないのが実情である。実施後のフォローアップでは、約99%の農家が継続して資材を設置している。（R1調べ）

■ 上流域の考えは・・・

下流域の農家については、比較的理解や協力が求められるが、上流域の農家の方への協力をどのようにして進めていくのかが課題である。（下流域からの呼びかけでは限界がある。）

■ 実施にあたり・・・

ほ場整備実施してから、30年以上が経過していることもあり、実施するにあたり条件が一定でないため、設置に苦慮した。新たなほ場整備時などの採択要件として、設置する等した方が効率が良い。

■ あるべき姿は・・・

田んぼダムは費用対効果で考えれば、非常に有効な手段であると考えられるため、まずは下流域である自分たちで取り組み（自助）、下流域のために上流域へ協力をお願いし（共助）、行政等からの強力な支援を受け（公助）、地域一体となり人名と財産を守るために、取り組める農業農村であってほしいと思う。

水田の貯留機能向上で洪水被害軽減

—洪水防止機能—

しおの 塩野地域資源保全会

塩野地域は、新庄盆地北部に広がる水田地帯であるが、排水が1箇所集中する構造となっており、大雨時には近隣の住宅地や転作田の作物への越水被害が慢性的に起こっていた。

このため、水田が有している貯水機能に着目し、洪水被害の軽減を図るため、平成26年から「田んぼダム」の取組を開始した。止水板や土のうで水田の排水口を絞り込むとともに、貯留量増加のため、畦畔のかさ上げを実施している。



しんじょう
山形県新庄市



バックホウによる
復田の畦畔かさ上げ



水田でのトラクター
による畦畔塗り



止水板による止水状況

〔洪水防止〕

平成26年から543圃場、28戸の農家の協力で「田んぼダム」の取組を始めた。

水位調整のため、止水板や土のうで水田の排水口を絞り込むとともに、一般の水田ではトラクターによる畦畔塗り、畑として利用していた水田及び復田予定の畑では、バックホウによる畦畔かさ上げを行い、貯留量の増加を図った。平成30年には、556圃場、32戸（参加率9割）と取組は拡大している。

「田んぼダム」の取組後は、大雨時の近隣の住宅地等への越水被害が軽減され、今後さらなる操作性及び機能性の向上を図るため、コンクリート2次製品の水位調整器の導入も検討している。

〔体験学習と教育、景観の保全〕

子供会による水路の生き物調査、女性部による花の植栽、紅花の試験栽培等さまざまな活動を行い、教育や景観の保全に貢献している。



導入予定の水位調整器



子供会の水路の生きもの調査



女性部の花の植栽

1. 組織の概要

設立	平成24年5月7日				
活動期間	平成31年度～平成35年度（令和元年度～令和5年度）				
区域面積	認定農用地面積	1,746.1ha	対象農用地面積	1,629ha	
行政区域	長井市				
水土里ネット	野川土地改良区（管内受益面積：2,530ha 行政区域：長井市、飯豊町）				
運営委員会	会長1名・副会長2名・監事2名・委員17名・事務局2名				
広域 及び 協定 参加 団体 等 集 落	活動組織名等		認定農用地面積(a)(田)	対象農用地面積(a)(田)	
	1. 成田清流のふるさと環境保全会		9,023	9,002	
	2. 西五十川地域環境保全会		14,317	13,603	
	3. 白兔地区環境保全会		9,454	8,895	
	4. 寺泉清流の里環境保全会		35,227	33,272	
	5. 川原沢ふるさと保全隊		13,034	11,874	
	6. 草岡地域保全協議会		20,377	19,926	
	7. 勸進代地域保全協議会		17,159	15,646	
	8. 平野地区環境保全会		56,022	50,682	
・ 野川土地改良区		計 174,613	計 162,900		
構成員	農家等		非農家等		計
	個人	法人	個人	団体	3,094個人
	782	31	2,312	130	161団体

2. 多面的機能支払交付金事業（農地維持支払、資源向上支払（共同活動））

(1) 保安全管理する区域内の農用地（単位：a）

区分	田	畑	草地	計	遊休農地
認定農用地	174,613	8,294	1,305	184,212	0
対象農用地	162,900	7,503	1,305	171,708	0

(2) 保安全管理する区域内の施設

水路 (km)		農道 (km)	ため池 (箇所)
開水路	パイプライン		
354.8	-	97.5	7

(3) 活動交付金額（農地維持支払分）

対象地目	対象農用地面積 (a)	交付単価 (円/10a)	交付金額/年 (円)	活動期間総額 (円)	備考
田	162,900	3,000	48,870,000	244,350,000	
畑	7,503	2,000	1,500,600	7,503,000	
草地	1,305	250	32,625	163,125	
計	171,708		50,403,225	252,016,125	

(4) 活動交付金額（資源向上支払分（共同活動））

対象地目	対象農用地面積 (a)	交付単価 (円/10a)	交付金額/年 (円)	活動期間総額 (円)	備考
田	162,900	1,800	29,322,000	146,610,000	
畑	7,503	1,080	810,324	4,051,620	
草地	1,305	180	23,490	117,450	
計	171,708		30,155,814	150,779,070	

3. 多面的機能支払交付金資源向上支払（施設の長寿命化）

(1) 実施期間

平成31年度～平成35年度（令和元年度～5年度：5ヶ年）

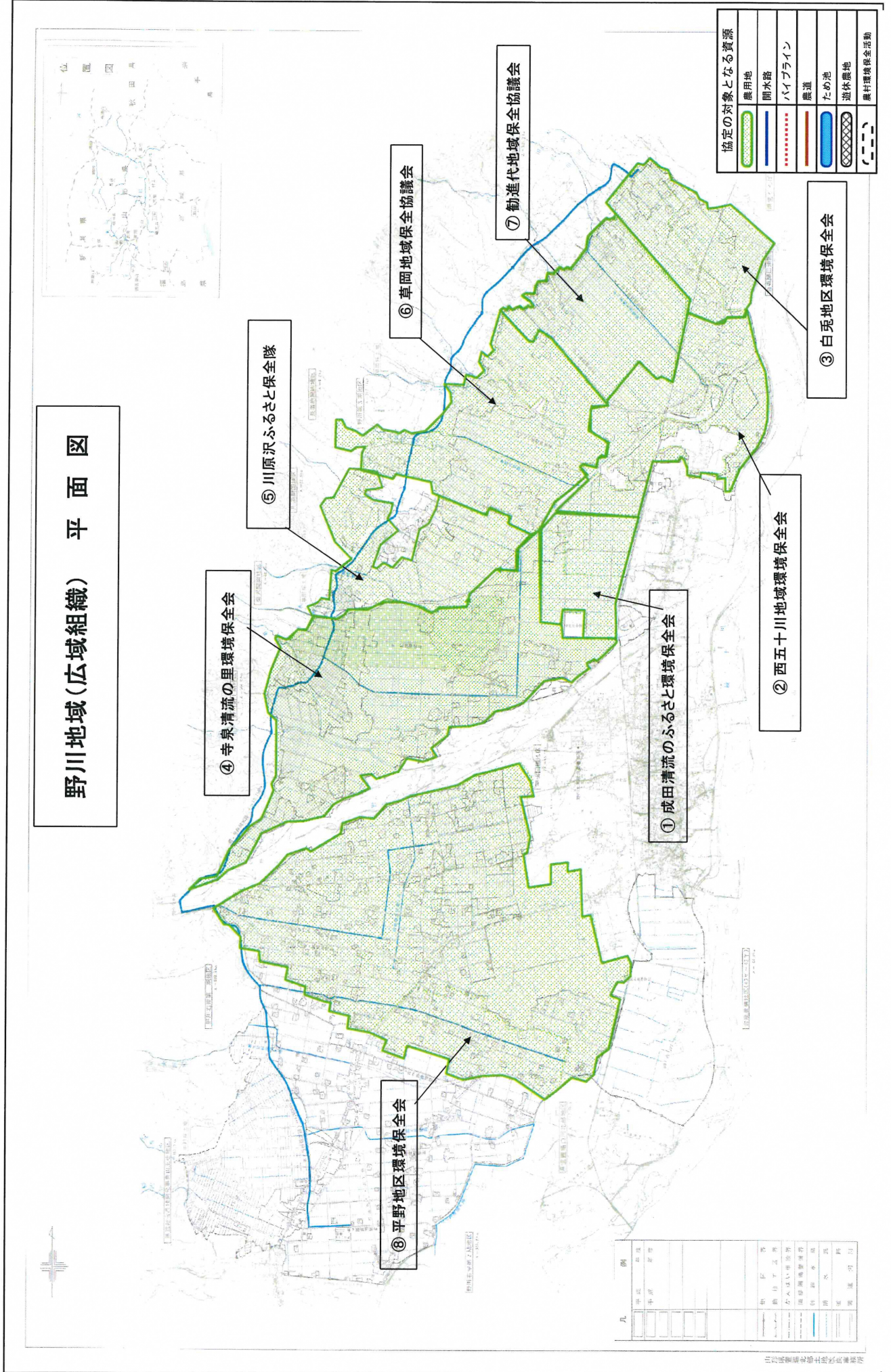
(2) 実施計画の概要

区分	路線（箇所）数	延長（m）	計画事業費（円）	対象組織数	備考
用排水路	16	5,715		8	
舗装整備	1	662	9,560,000	2	
ため池	1		25,000,000	1	
小計			34,560,000		
測量試験費等	1式		25,000,000		(5,000,000円/年*5ヶ年)
計	18	5,715	59,560,000		(計画事業費48,125,000円/年)

※【水田の貯留機能向上活動(田んぼダム)】取組み状況

『R3.11多面的機能支払交付金に関するアンケート』農林水産省

活動組織	認定農用地面積 (田) (a)	防災・減災力の 強化	設置面積 (ha)	設置ほ場数	備考
成田	9,023	—			
西五十川	14,317	—			
白兔	9,454	—			
寺泉	35,227	○	10	40	H29, H30, R1
川原沢	13,034	—			
草岡	20,377	○			
勸進代	17,159	—			
平野	56,022	○	115	480	H23, H24
計	174,613		125	520	



田んぼダム

プロジェクト

～田んぼダムによる防災・減災の取り組みについて～

山形県

農地・水・環境保全組織

いなばエコフィールド協議会

庄内発

「田んぼダム」実施中

田んぼダムは豪雨時の洪水被害を軽減する取り組みです。

農地・水・環境保全組織 いなばエコフィールド協議会

1. 地区の概要

組織名称 : 農地・水・環境保全組織 いなばエコフィールド協議会

代表者氏名 : 運営委員会会長 齋藤 豪 (さいとう つよし)

所在地 : 山形県鶴岡市藤島地内

管理協定参加集落 : 16集落(地域部会)

管理協定参加団体 : 1団体 因幡堰土地改良区(事務局)

2. 保全管理する農用地、施設

協定農用地面積 : 田 121,274a 畑 615a 合計 121,889a 遊休農地面積 0a

農業用施設 : 水路(開水路) 179.4km 水路(パイプライン) 34.9km 農道 59.7km

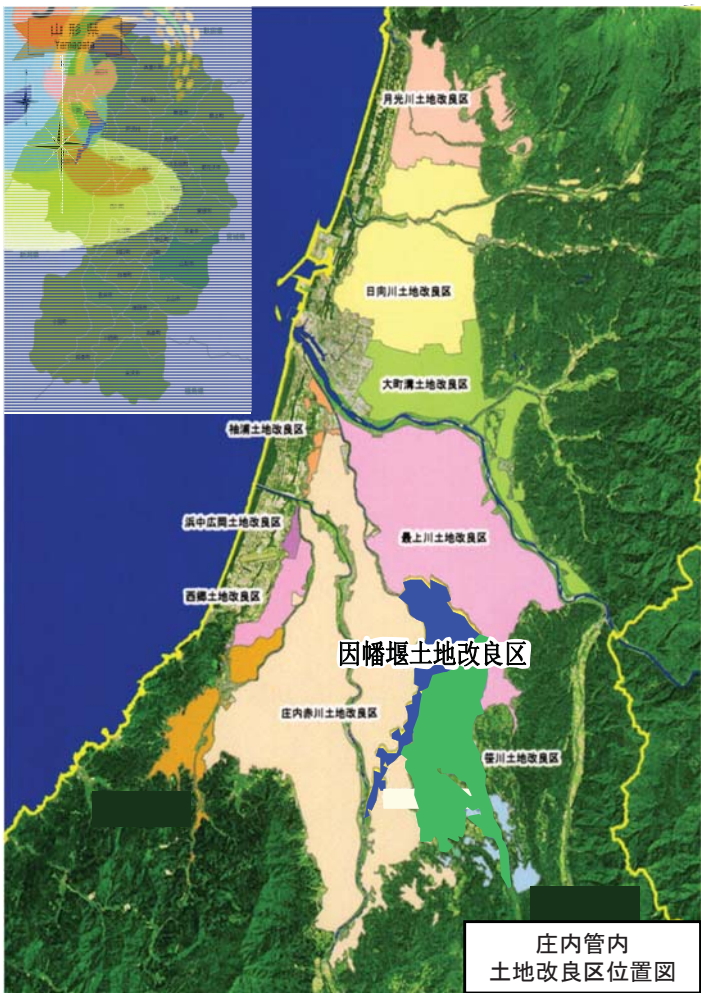
3. 交付金額

対象農用地面積 : 田 118,126a 畑 615a 合計 118,741a

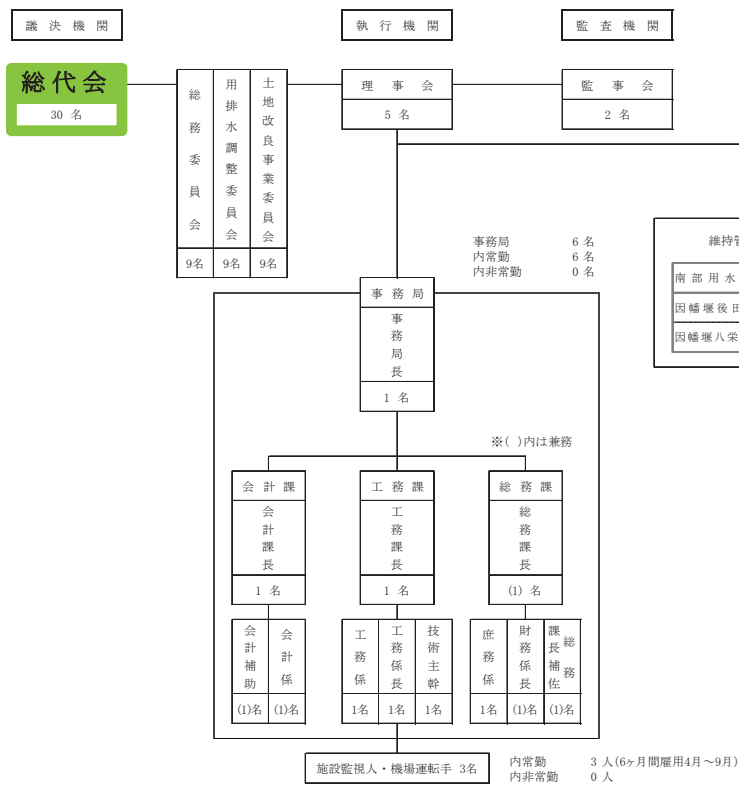
①農地維持支払 35,560,800円/年 平成31年度～令和5年度

②資源向上支払(共同活動) 24,872,880円/年 平成31年度～令和5年度

③資源向上支払(施設の長寿命化) 52,098,440円/年 平成31年度～令和5年度



因幡堰土地改良区 組織機構図



農地・水・環境保全組織 いなばエコフィールド協議会	
アドプト・プログラム協定締結地域部会及び対象施設	
富沢地域部会	・東2号幹線用水路
昼田地域部会	
柳久瀬地域部会	・東2号幹線用水路
上町地域部会	・東2号幹線用水路、大洞寺排水路
中町地域部会	・東2号幹線用水路
下町地域部会	・東2号幹線用水路、上用水路、十文字排水路
古郡地域部会	・東2号幹線用水路
下中野目地域部会	・三千刈用水路、下用水路
野田目地域部会	・下用水路、七曲排水路
越後京田地域部会	・下用水路、機排水路
藤岡地域部会	・七曲排水路
須走地域部会	・須走用水路、七曲排水路
三和地域部会	・機排水路、七曲排水路
八色木地域部会	・上用水路、八色木排水路
豊栄地域部会	・豊栄排水路
小中島地域部会	・小中島用水路、十文字排水路
高寺エコフィールド	
アドプト・プログラム協定締結地域部会及び対象施設	
高寺地域部会	・東2号幹線用水路

1. 日当対象活動及び単価

対象活動	今年度単価	備考
作業(共通)	1,200 [円/時間]	施設補修等の特定作業
作業(草刈)	1,700 [円/時間]	個々で実施する分については支出しない

2. 機器借上げ単価

対象機器	今年度単価	備考
自動車(軽トラック)	500 [円/時間]	
自動車(普通トラック)	1,000 [円/時間]	
トラクター	4,000 [円/時間]	
モア	2,500 [円/時間]	
発電機	1,000 [円/時間]	
水中ポンプ	1,000 [円/時間]	

3. 使用料

対象施設	今年度単価	備考
公民館	3,000 [円/回]	関係町内会の公民館使用規定による
農業体験田(オープン地区)	19,400 [円/10a]	内訳) 一般水利費4,400円/10a、鶴岡市小作料15,000円/10a
農業体験田(パイプ地区)	22,600 [円/10a]	内訳) 一般水利費4,400円/10a、鶴岡市小作料15,000円/10a、パイプ維持管理費3,200円/10a

4. 団体協力金及び田んぼダム作業協力金

対象活動	今年度単価	備考
団体協力金	1,000 [円/時間]	各団体・組織(共通)
田んぼダム作業協力金	500 [円/10a]	取り組み実績により支出する ※新規

5. 運営委員報酬

役職名	今年度単価	備考
運営委員	30,000 [円/年]	

○ 田んぼダムって何?

【最近の困り事】

近年の頻発する大雨や突発的な豪雨による転作田(園芸産地)の湛水による被害対策が急務!



【新たな取組み】

水田の貯留機能(ダム機能)に着目し、降雨をいったん水田で受け止めて、ゆっくり流出(排水)する仕組みです。(まさにダムのような役割。ここから「田んぼダム」と呼ばれています)

これにより、

排水が下流域に一気に集中せず、排水路や下流農地の湛水・溢水被害が軽減されるようになります。しかも…「安価な装置」、「即効性大」、「操作が簡単」などから、「田んぼダム」の取組みが注目されています。



○ 地域一丸で取り組むことが効果的です!

バラバラ・点在した取り組みより、地域一丸となり、まとまって「田んぼダム」群とする取り組みが効果的です。特に、上流から下流域を一括りにした取組みは、田んぼダムの効果を一層高める取組みです。

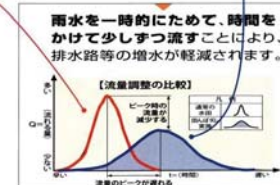
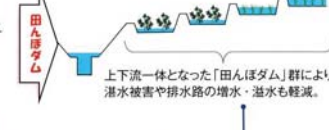
これまでは…

集中豪雨など大雨の後は、いつも湛水被害。田んぼの一斉排水により、排水路はすぐ溢れるし…



これからは…

安心して、園芸産地化を目指すぞ!



○ 「田んぼダム」…? どうするの?

「田んぼ」を「田んぼダム」にするには、難しいことはありません。

「田んぼ」本来の水を溜める機能(水田貯留機能)をしっかり保つことです。3つの取り組みが有効です。

その1 畦畔の保全

形状の劣化・沈下・破損を修繕し、水漏れしない畦畔を作りましょう。また、畦畔の嵩上げも有効です。



その2 水尻(排水孔)の補修

溝畔の形状の劣化・沈下・破損を修繕します。



その3 排水調整装置の設置

水尻柄に排水調整装置を設置します。(詳細は下記)



田んぼダムの仕組み(排水調整装置)

田んぼダム(水田)からゆっくり放流(排水)することにより、地域一丸で湛水被害を予防・軽減する取り組みです。⇒ その仕組みは簡単、水尻柄に排水調整装置(排水口を絞る装置)を設置するのみです。



○ 「調整機能」の構造・仕組み(代表的な例)

【L型調整金具による排水調整】

排水口に片側を浮かせた調整板を設置する方法です。

【調整板による排水調整】

排水口の溝に配水管より小さな穴の開いた調整板を設置する方法です。

注) 排水口に調整板を設置し、ゆっくり排水するように、抑制する装置(板など)を取り付けます。調整装置は、「L型調整金具」や「穴穴型調整板」など、色々工夫した取組みがあります。(写真は参考)

★みんなで取り組もう★

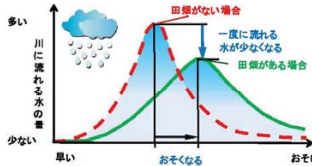
田んぼダムによる防災・減災の取組

農地・水・環境保全組織いなばエコフィールド協議会

田んぼダムの仕組み



排水口に堰板を使って水の溜さを調節できる



【降雨時、川に流れる水量の変化】
田畑のある場所では、雨量を貯留することができるため、一度に川に流れる水量を減らすことができる。

水位調整板の設置状況



田んぼの湛水状況



本地区では、ほ場整備後、個々の農家が簡易的に塩ビ管やヒューム管を設置し排水対応を行っていたが、近年、発生が増えている豪雨の際には、排水対応と排水施設等の保身に苦慮し、排水溝詰りや法面崩壊が発生していた。

このため、排水溝詰りや法面の補強を行うとともに、水田の排水口に調整板を設置して水田の貯留機能向上を図ることで、大雨時のダムの効果的な貯留効果を発揮している。

田んぼダムプロジェクト

田んぼダムとは、水田の持つ貯留効果を利用してしっかり貯えゆくりと排水するものです。農地、取り分け水田の持つ多面的機能でもあり、農家の地域貢献活動としては、低コストで防災効果が高い優れた取り組みとの評価もあります。

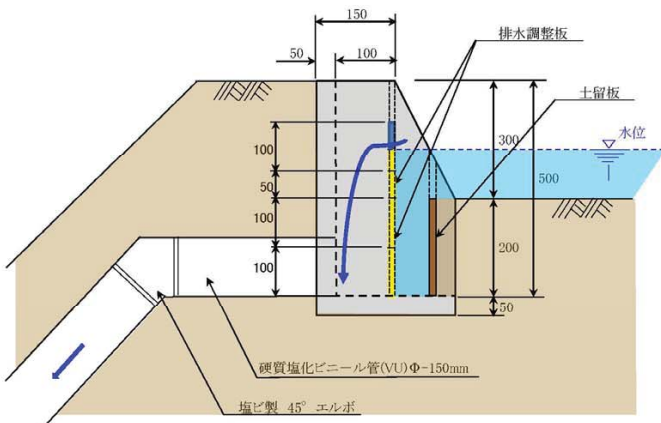
現在、田んぼダムの取り組みを表明している地区には、町内会単位で田んぼダム用の水位調整板を配布しておりますので、皆さまの地域でも町内会ごとにご検討の上、地区の土地改良区総代とお話し、水士里ネットいなばまでご相談ください。

最近ゲリラ豪雨も頻発傾向にありますので、河川の急激な増水を抑え、治水効果を更に発揮させ、地域生活や生命、財産を守るために、できるところからみんなで取り組みましょう。

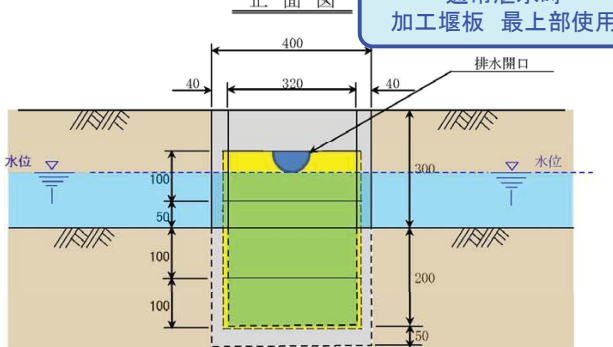


代播期における調整板標準配置図

側面図



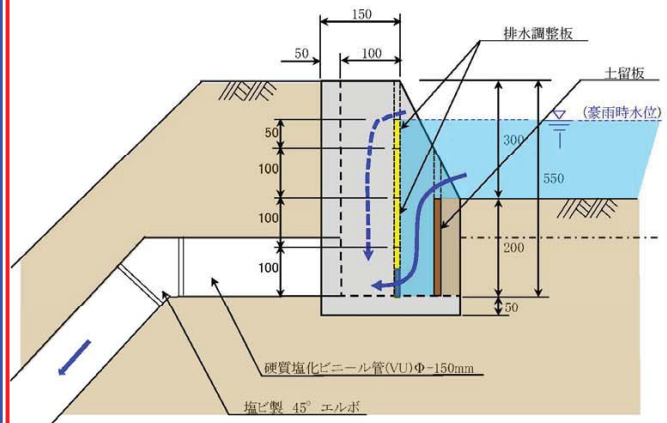
正面図



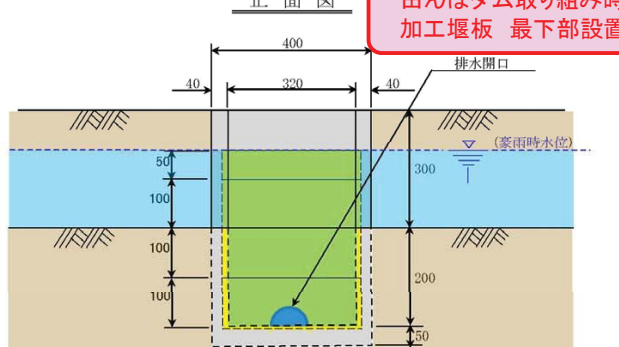
通常湛水時
加工堰板 最上部使用

中干期における調整板標準配置図

側面図



正面図



田んぼダム取り組み時
加工堰板 最下部設置

令和3年度 田んぼダム取組履行確認票 【町内会名：越後京田】

関係町内会	大字	小字	本番	枝番	地目	対象面積 (m ²)	排水調整器	田んぼダム用堰板	取組意欲	履行確認
越後京田	越後京田	双見	19	1	田	548	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	20		田	274	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	21		田	264	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	23	1	田	378	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	28	1	田	861	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	61		田	6,041	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	62	1	田	5,800	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	62	2	田	3,329	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	63	1	田	280	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	63	2	田	5,327	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	64		田	3,741	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	65		田	5,137	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	66		田	2,900	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	67		田	2,203	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	68		田	871	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	69		田	990	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	70		田	1,166	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	71		田	2,336	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	72		田	4,665	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	73		田	4,240	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	74		田	3,567	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	75		田	4,841	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	76	1	田	1,017	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	76	2	田	2,085	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	77		田	6,188	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	78		田	6,261	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	79		田	2,995	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	80		田	2,906	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	81		田	8,585	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	82	1	田	1,835	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	83	1	田	3,716	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	83	3	田	2,300	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	83	4	田	1,825	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	84		田	507	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	85		田	507	×	×	×	×
越後京田	越後京田	双見	86		田	2,330	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	87		田	3,372	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	88	1	田	2,400	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	88	2	田	1,392	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	89	1	田	3,836	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	90	1	田	3,853	○	○	○	○
越後京田	越後京田	双見	91	1	田	3,731	○	○	○	○
計						121,400			88%	1106,243

各地の田んぼより

山形から
「賦課金500円減」を
合言葉に農家が本気になった

越後市の多面的機能支助の活動組織「いなばエコフィールド協議会」は、県内でいち早く田んぼダムに取り組み、今年で10年目になる。当初は「畦畔の補修に今までの以上に労力や経費がかかる」「収穫期に水を貯めたらコンバインの作業ができません」という声が多かった。しかし、田んぼダムの機能は、田んぼの水を落としたい時期に田んぼダムを機能させるには、田面の地間に半円穴のあいた排水調整板を使う。これで急の大雨でもそのまま田んぼダムになる。半円穴の排水調整板を入れるのは、6~7月の中干し時期と10~11月のイネ刈り後の時期。その期間は排水調整板が設置されているかどうか、役員が点検を行なっている。

一体型でも中干しに困らない

田んぼの水を落としたい時期に田んぼダムを機能させるには、田面の地間に半円穴のあいた排水調整板を使う。これで急の大雨でもそのまま田んぼダムになる。半円穴の排水調整板を入れるのは、6~7月の中干し時期と10~11月のイネ刈り後の時期。その期間は排水調整板が設置されているかどうか、役員が点検を行なっている。



令和3年度 田んぼダム取組実施状況

組織名：農地・水・環境保全組織 いなばエコフィールド協議会

令和4年3月31日現在

No.	地域部会名	対象面積 (m ²)	取組面積 (m ²)	作業協力金 (円)	実施率 (%)
1	昼田	228,940.00	0.00	0	0.00%
2	富沢	372,599.00	205,034.00	102,121	55.03%
3	柳久瀬	624,205.00	620,754.00	309,178	99.45%
4	上町	333,997.00	287,939.00	143,413	86.21%
5	中町	312,987.00	260,581.00	129,787	83.26%
6	下町	682,516.00	635,439.00	316,492	93.10%
7	古郡	878,030.13	203,403.00	101,308	23.17%
8	下中野目	361,190.00	358,786.00	178,700	99.33%
9	野田目	872,909.00	870,959.00	433,797	99.78%
10	越後京田	234,126.00	229,661.00	114,387	98.09%
11	藤岡	459,812.00	447,492.00	222,881	97.32%
12	須走	776,634.00	750,311.00	373,706	96.61%
13	三和	1,528,524.59	1,263,637.59	629,377	82.67%
14	八色木	1,755,661.71	1,600,590.00	797,202	91.17%
15	豊栄	971,247.38	686,528.00	341,937	70.69%
16	小中島	1,419,236.00	1,300,669.00	647,821	91.65%
	合計	11,812,614.81	9,721,783.59	4,842,107	82.30%

対象者 244名 実施者 165名 実施率 67.62%

これからも皆さまより活動に対するご助言とご指導をいただければ幸いです。



ご静聴ありがとうございました。

冬期湛水による白鳥被害

山形県
農地・水・環境保全組織
いなばエコフィールド協議会

1



2

